

葛巻町 8年度 消防演習

約300人が参加した演習
総合評価は「極めて優秀」



4 ぐずまき大橋河川敷で行われた圧巻の放水訓練
5 全18分団が横一列に並んで一斉に行われた車両の機械器具点検
6 中隊訓練では消防団員が機敏な動作を披露
7 「絶対に火遊びはしません」と元気よく防火の誓いをする幼年消防クラブ員

い掛け声で、町消防団の高い士気を披露しました。
演習を締めくくったのは放水訓練。煙火花火が打ち上がり、各分団が放水を開始すると、大空高くに豪快な水のアーチがかけられ、見上げた観衆からは大きな歓声が沸き起りました。
法領田剛講習官（盛岡地区広域消防組合消防長）は「極めて優秀」と講評し「どの演習も大変見事」と最高の評価をしました。演習の最後には参加者全員で万歳三唱し、町消防団の発展と安全・安心のまちづくりへの決意を新たにしました。

1 J Rバス葛巻駅前で行った威風堂々とした分列行進を行う消防団員
2 「町消防団に誇りを持って演習に励んでほしい」と訓示する統監の鈴木町長
3 特別点検の項目の一つ「観閲」では統監の鈴木町長をはじめ来賓の皆さんが日頃の訓練の成果を確認

令和8年度町消防演習は5月17日、葛巻小学校校庭を主会場に行われ、町消防団（向川原徳志団長）、町女性消防協力隊（村中千鶴子隊長）など関係者約300人が参加し開催されました。午前8時の招集サイレンを合図に各隊が入場。統監の鈴木重男町長は「安心安全な暮らしの実現に向けて、日頃の訓練の成果を発揮し、町民の負託に応えられるような演習としてほしい」と訓示を述べました。副統監の觸澤義美副町長の演習開始宣言のもと、団員らは部隊訓練や機械器具点検、ポンプ操作など日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮。陸上自衛隊の炊事車や女性消防協力隊の薪を活用した炊き出し訓練では災害時の連携を深めました。少年消防クラブの軽可搬法や幼年消防クラブによる鼓笛演奏では、元氣いっぱいの演技が披露され、参観者の目を引いていました。
J Rバス葛巻駅前では、多くの観衆が見守る前で力強く分列行進。規律正しい動作と勇まし